

高齢者が使いやすい駐車場を目指した取り組み (中央自動車道下り線八ヶ岳パーキングエリア)

中日本高速道路株式会社 八王子支社 正会員 ○佐藤 久長
中日本高速道路株式会社 八王子支社 非会員 山本 航
中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社 非会員 櫻井 光昭
中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社 非会員 佐原 匡治

1. はじめに

日本は世界でも類を見ない超高齢化社会に突入し、総人口の減少に反して65歳以上の高齢者人口は上昇を続けており、2019年9月現在の推計では3,588万人、総人口に占める高齢化率は28.4%となっている。この結果、近年では、高速道路を走行する高齢ドライバーの増加に比例して、高齢者による逆走や事故が増加している。

NEXCO 中日本では、こうした背景から増加する高齢ドライバーの課題解決に向け、2014年より各分野の学識経験者を含めた検討会を立ち上げ、高速道路側で支援すべき内容を検討している¹⁾。本稿では、その中でも高齢者の事故割合が全年齢層と比べて高かった休憩施設内の事故¹⁾に着目し、中央自動車道下り線八ヶ岳パーキングエリアにおいて、駐車場対策を試行したので、その結果を報告する。

2. 現状と課題

NEXCO 中日本八王子支社が管理する中央道の休憩施設における、2013年1月から2017年12月までの5年間の事故データを分析した結果と、現状の休憩施設の利用状況から、高齢ドライバーには以下のような課題があることが分かった。

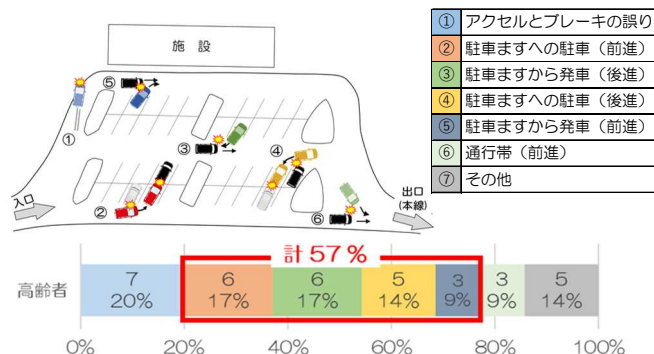


図-1 休憩施設内の事故発生状況

①スムーズな駐車・発車ができない

駐車スペースへの駐車・発車時における接触・衝突事故が休憩施設内事故の57%を占めており(図-1)、スムーズな駐車・発車ができないケースが存在する。

②駐車場内を歩く場合、接触事故リスクがある

混雑状況によっては営業施設やトイレから離れた場所に駐車せざるを得ない。高齢者の中には杖を使用している人もいるため、歩行中に車両との接触事故のリスクがある。

3. 対策の実施(小型車ます)

①駐車スペースの1列化(図-2)

他車との接触事故リスクを減らし、スムーズな駐車・発車を支援するため、駐車スペースを2列から1列駐車に変更し、全ての小型車の前進駐車・発車を可能にした。

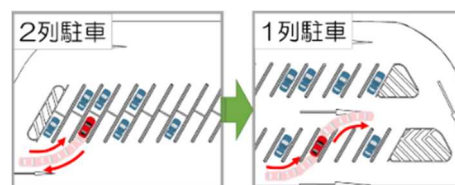


図-2 1列駐車への変更

②思いやりますの設置

通常の駐車スペースの中に、高齢者を優先的に駐車可能とする「思いやります」を設置した(図-3)。なお、高齢者だけでなく、妊婦やけが人等を優先としつつ誰でも駐車可能なスペースをコンセプトとした。

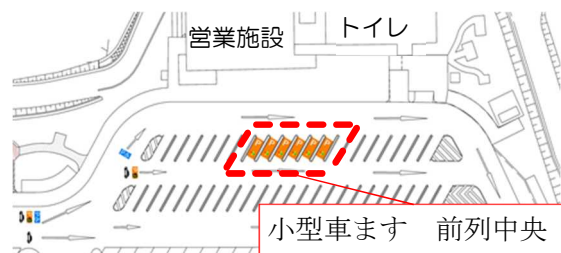


図-3 思いやりますの位置図

キーワード 高速道路、休憩施設、高齢者、駐車場、交通事故

連絡先 〒192-8648 東京都八王子市宇津木町2-3-1 中日本高速道路株式会社八王子支社 TEL042-691-117

設置箇所は営業施設やトイレに近い前列中央の 6 つの駐車マスとした。 ます幅は駐車場ユニバーサルデザインガイドライン²⁾の「ゆったり駐車スペース」を参考に、従来のます幅より 20 cm 広い 2.7m とした。 駐車まスのデザインは、東北自動車道前沢サービスエリア内の「おもいやり駐車場」を参考にオレンジ色、高齢者マークとした。なお、高齢者以外にも妊婦、けが人、身障者等複数のマークを入れることも検討したが煩雑化を避けるため採用しなかった(図-4)。



図-4 思いやりますデザイン

5. 対策の評価

試行した対策を評価するため、対策前後の駐車状況を WEB カメラで観測するとともに、休憩施設を利用された方にアンケート調査を実施した。

(1) WEB カメラデータによる評価

① 駐車・発車の所要時間の減少

1 列化により駐車・発車の所要時間が 10% 減少した。このことから、2 列駐車よりスムーズな駐車・発車が可能になったものと示唆された(図-5)。

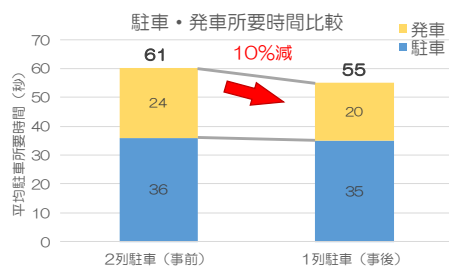


図-5 駐車・発車所要時間

② 当該駐車まスの利用（時間占有率）の減少

思いやりますに変更した駐車まスの時間占有率が 79% から 44% に減少し、当該駐車マスは利用されていない時間が多い結果となった(図-6)。

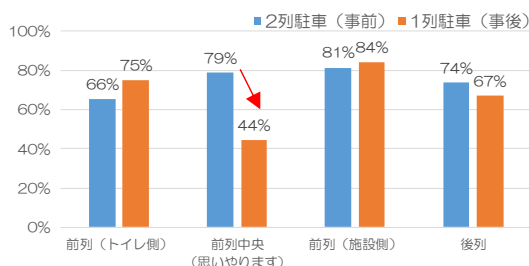


図-6 駐車マス利用状況（時間占有率）

(2) アンケート調査結果による評価

① 高齢者が思いやりますを利用しない

70 歳以上の高齢者のうち、思いやりますを利用しないという回答が 25% を占めていた(図-7)。最も多い「高齢者用だから」という理由以外からも、あえて周囲から高齢者と見られるますには駐車しないという高齢者の意向が推察された。

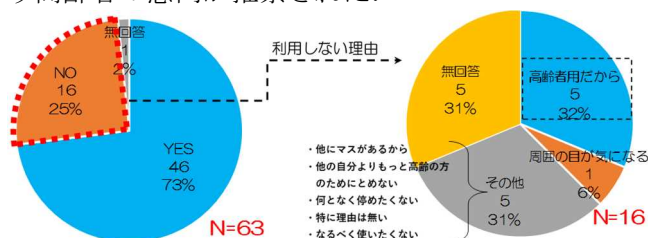


図-7 思いやりますの利用意志(70 歳以上)

② 思いやりますに対する理解

高齢者マークをデザインした思いやりますは、優先と専用を合わせて 77% の方が高齢者の方用と理解していた。他方、このマークだけでも 6% の方が妊婦の方や誰でも使えると広義に理解していた(図-8)。

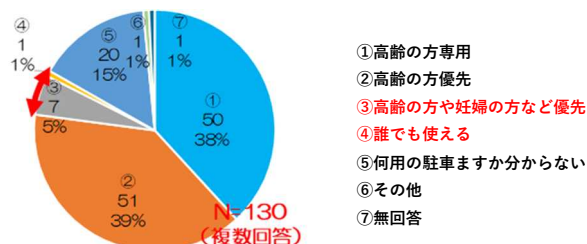


図-8 思いやりますに対する理解(全対象者)

6. おわりに

駐車まスの 1 列化によって、スムーズな駐車・発車を実現できた。しかし、思いやりますは、高齢者の一部からは遠慮されるという課題が生じた。当該駐車まスの利用の減少も含めて、高齢者を支援するための更なる方策について検証を深めていきたい。

謝辞

本稿については、千葉工業大学の赤羽弘和教授を委員長とする「八王子支社 高速道路の高齢者対応に関する検討会」の成果の一部である。ここに記して関係各位に謝意を表します。

参考文献

- 山本他：高速道路における高齢ドライバーの運転行動分析，交通工学論文集，第 5 巻，第 2 号(特集号 A)，pp. A_40-A_47，2019。
- 駐車場ユニバーサルデザインガイドライン(財団法人東京都道路整備保全公社)平成 19 年 2 月